

忘れられない瞬間  
困難を乗り越えた自分

ジョレイリ

皆さんは、今までの人生を振り返ってみると、一番忘れられないのはどのような瞬間でしょうか。私は今までの人生には楽しいことや辛いことがたくさんありましたが、その中で一番忘れられないのは高校時代のある思い出です。

私は楽器がすごく苦手です。小学校の時、五線譜が読めない私はフルートのテストで、五線譜にある音符を数えながらゆっくり曲を吹いていたから、音楽の先生に、「もういいです、席に戻ってください。」と厳しく叱られました。まさかテストの途中で席に戻されてしまうなんて、当時の私はすごく悲しかったです。元々自信がない私は、それから楽器に対して更に怖くて嫌な感じがしました。

高校に入った私は、たくさんの友達ができました。当時周りにギターができる友達がたくさんいました。彼らがギターを弾いたり、歌を歌ったりして、私も隣で一緒に歌っていたのはすごく楽しかったです。そして彼らの影響で、私はギターを学ぼうと思っていました。しかし、小学校のあの場面がまだ頭の中で流れていて、自分ができるかどうかすごく迷っていましたが、周りの友達が私の悩みを聞いて、励ましてくれました。「一緒に練習しよう。教えてあげるから!」、「レイリもギターができると、みんな一緒に歌うのがもっと盛り上がるじゃない!」と彼らの支えで私はギターサークルに入ることになりました。

サークルに入ってから、先生の指導や友達との練習を通して、学年期末の発表会に選ばれて、友達と二人でステージで演奏することになりました。選ばれたことをきいたら嬉しくて耐えられない気持ちの一方、自分が本当にできるかどうかを心配していました。あの時と同じことを繰り返さないように、それから発表会までほぼ毎日練習を重ねて頑張りました。もちろんうまくいなくて落ち込んでいたときもあったけど、友人とお互いに励まし合ったことが支えになったから、自分ももっと頑張りたいと思っていました。発表会当日、友達みんな会場にきました。あの時の緊張感は今でも覚えています。しかし、友達がそばで支えてくれたので、安心しました。いよいよ私たちの番です。ステージに上って、目の前に眩しいライトが入り交じり、更に緊張してきたけど、その中で友達の顔を見て、ちょっとだけ安心しました。演奏中はその緊張感を忘れて、自分も演奏を楽しめました。その時の会場も盛り上がってました。自分も想像していないくらいノーミスの演奏ができて、最後までうまくいきました。小学校の時と違って、自分の心からこの演奏を楽しめるのは本当に最高だと思いました。向こうからの拍手が聞こえて、困難を乗り越えたことを感じたその瞬間は、一生忘れない瞬間です。

ずっと隣に支えてくれた友達だけではなく、あの時ギターに勇気を出した自分も感謝をしています。もしあの時その一步を踏み出さなかったら、今でも楽器に怖がっているかもしれません。あの瞬間は私の人生の宝物になって、一生忘れないと思います。